# ～キャリアの軌跡～

第３９号　2013年12月20日
長崎大学病院
医療教育開発センター発行

長崎大学病院は救急医療教育が充実!!

## 日本救急医学会認定
# ICLSコースを開催しました

県内初!

### ICLSコースとは？

―「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語で、緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。

第１回は受講者１２名、スタッフ7名、第２回は受講者１１名、スタッフ１２名が参加しました。

### ICLSコースは受けたほうがいいの？

来年より、長大研修医は必須となります!!

― 当院で開催しているコースは日本救急医学会の認定基準に則った公式の講習会で、認定コースを修了すると「ICLSアシスタントインストラクター」の資格が得られます。また、認定内科医資格認定試験の際には、ICLSの受講が有効になります。将来、必ず役に立つ講習会ですので、ぜひ受講しておいてください。

## 講習会の模様

### 開会式

当院初となる第１回は、大分医療センター 麻酔科の岩本亜津子先生にコースディレクターを務めていただきました。第2回目は救命救急センターの長谷敦子先生。

### BLS、AED

AEDの正しい使い方を知っていますか？

倒れている人を発見し、CPRを行うまでの流れを確認しました。

（裏面へ続く）

スキルセッションは2つのグループに分かれて行いました。

## 気道管理

◀気管挿管で使用する器具を、長谷先生から、1つ1つ説明していただきました。

▲挿管前に、酸素化を十分行います。

声門に気管チューブを挿入していきます。

## モニター・除細動

◀柴田先生がALSのアルゴリズムを、ポスターを使って説明。

◀田下看護師が、除細動器の使い方と、電気ショックをかける際の流れや注意受講を説明しました。

シナリオセッションでは、VF/Vとnon VF/VTのパターンでそれぞれチーム蘇生のシナリオをやった後、メガコードで今日一日行ったことの総まとめをしました。

午後からのシナリオセッションを始める前に、スタッフ全員でBLS、ALSを含めたチーム医療のデモンストレーションをしました。スムーズで息のあった処置に、受講生たちからは「おぉ～！」と感嘆の声が。

波形チェック！
Asystole…から
VFに変わった！
電気ショック！

記録も大事な役割です。

シナリオ開始

うぅ～…
先生！
胸の痛かよ！

患者役をする山野先生の迫真の演技です。

1つのシナリオが終了すると、振り返りをして良かった点、改善できる点をチーム全員で考えます。

## 閉会、修了式

コースディレクターの岩本先生（第1回）、長谷先生（第2回）から、修了証と受講カードが、受講生に手渡されました。

### お疲れさまでした！

人に教えることで、
知識の整理ができます。
みなさん、ぜひ
インストラクターを
目指してください！

救命救急センター
長谷敦子 准教授

### ◆アンケート◆ 受講者からの声

実際のシミュレータで実習を行うことができたので勉強になりました。緊張感のある中で冷静に処置できるようなるにはまだまだ経験が必要だと感じました。

とても楽しく、勉強になりました。シナリオがいろいろあって飽きませんでした。

心停止の患者さんやハリーコールに対して、積極的に治療に飛び込んでいこうという自信がついた。

## 平成26年度もICLSコース開催予定です！

長崎大学病院は、救急医療教育の一環として、全研修医の日本救急医学会認定『ICLSアシスタントインストラクター』資格取得を目指しています！
ICLSコースを受講するなら、ぜひ長崎大学病院へ！！

蘇生のための
チーム医療を
身につけよう！

長崎大学病院　医療教育開発センター
〒852-8501　長崎市坂本1丁目7番1号
TEL：095-819-7847　FAX：095-819-7882
MAIL：kaihatu@ml.nagasaki-u.ac.jp
HP：http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/
ブログ：http://careerngs.exblog.jp/